

アウクスブルク滞在記

山上 裕理

1. はじめに

第一に、今回、尼崎市青年使節団としてアウクスブルク市へ訪問できたことを誇りに思います。人生で初めてドイツに行くので言語の壁や文化の違いに不安を抱いていましたが、現地の方々は私達の訪問を歓迎して下さい、出発前のような不安を感じることなく、無事に姉妹都市であるアウクスブルク市と多くの交流を通してより一層良い関係が築けたと確信しています。

2. 1日目

アウクスブルク市に到着した後、早速ホストファミリーとの対面式がありました。ドイツに訪問する前からメールで何度もやり取りをしていたので、実際に会えて嬉しかったです。その日の夜ご飯は、私がメールで伝えていた、ドイツで有名なソーセージを準備してくれていました。



3. 2日目

2日目は、ディーゼル記念石庭苑、尼崎・

長浜通、日本庭園のある植物園、フッガーライ、アウクスブルク市の中心部を訪問しました。自分がドイツにいることを忘れるくらい、日本に関する多くの場所に行きました。今回の青年使節団に参加するまでドイツは日本の文化をここまで受容していると知らなかったのが驚きました。



4. 3日目

3日目は、表敬訪問、市場散策、アウクスブルク市立図書館、伝統衣装ディンドル試着、人形劇団プッペンキステ鑑賞、そして、夜ご飯は皆のホストファミリーとフラムクーヘン作りと有意義な1日でした。表敬訪問はロココホールで行われました。尼崎市青年使節団員として署名をすることでより一層気持ちを引き締めて行事に参加できたと思います。夜ご飯は、自分のホストファミリーだけではなく皆のホストファミリーと交流できてとても楽しかったです。私たちのグループが作ったフラムクーヘンが大好評だったことは嬉しかった思い出のひとつです。



5. 4日目

4 日目はフュッセン、ノイシュヴァンシュタイン城、ヴィースの巡礼教会を訪れました。ノイシュヴァンシュタイン城は人生で1度は訪れたい場所だったので訪問できて嬉しかったです。城の内部では音声ガイドがあり、日本語にも対応していて改めてドイツと日本の繋がりを感じました。



6. 5日目

5 日目は、Halle116、アウクスブルク大学、繊維博物館、WWK アリーナを訪れました。アウクスブルク大学は私のホストファミリーや、3日目のフラムクーヘン作りで仲良くなった人が通っている大学なので、見てまわるのがとても楽しかったです。WWK アリーナでは、普段立ち入ることができない場所にも特別に招待して下さり、とても有意義

な体験になりました。フィールドに立ち入れたことが最も印象的でした。



7. 6日目

6 日目は、歴史的水道施設、職業訓練センターを訪れ、夜には送別会が行われました。送別会は私達が以前から準備していた尼崎及び日本の紹介動画と、動画に関するクイズをしました。団員全員で協力し、無事にやり遂げることができました。



8. 7日目

7 日目は終日ホストファミリーと過ごす1日でした。私がメールで行きたいと伝えていた、ネルトリンゲンとミュンヘンに連れて行って下さり、夜はホストファミリーとゲームやアニメを楽しむなど沢山お話もできて、大満足な1日でした。



9. おわりに

私は、尼崎市青年使節団に参加して本当に良かったと思っています。今後も、自身の成長にも繋がる貴重な体験のできる素晴らしい企画が続くことを願っています。